

## [JP] SOUNDVISION 2026.2 リードミー

Soundvision は L-Acoustics の音響およびメカニカルに関する 3D モデリングソフトウェアです。

SOUNDVISION 2026.2 は 2026 年 4 月より <https://www.l-acoustics.com/> からダウンロードできます。

### コンピューター要件

最小動作環境：

- オペレーティングシステム
- Windows 10 (64-bit)
- macOS Catalina (10.15) から macOS Monterey (12) まで。
- メモリー：1 GB 以上
- プロセッサ速度：1.2 GHz 以上
- ハードディスク空きスペース 100 MB 以上
- ビデオカード：
- Intel HD、Iris graphics。(Intel GMA と Intel Extreme Graphics はサポート対象外です。)



Intel HD Graphics 5500 グラフィックカード (プロセッサ: i3-5005U、i3-5015U、i3-5010U、i3-5020U、i5-5200U、i5-5300U、i7-5500U、i7-5600U) 搭載の PC は、ドライバーバージョンを 10.18.15.4279 (インテルパッケージ・バージョン 15.40.7.4279 以降) 以上にアップデートしてください。これに満たないバージョンのドライバーはマッピング結果を正常に表示できません。

- GeForce カードシリーズ 8 以上。



次のモデルは互換性がありません：GeForce 256、GeForce 2 シリーズ、3 シリーズ、GeForce 4 シリーズ、GeForce FX シリーズ、GeForce 6 シリーズ、GeForce 7 シリーズ。

- ATI Radeon HD 2000 シリーズ以上。
- サードパーティソフトウェア：Adobe® Reader®

Windows 10 および Windows 11 は Microsoft 社の登録商標です。

Mac および mac OS は米国および他の国で登録されている Apple 社の商標です。

Adobe および Reader は、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

### Soundvision のインストール

#### 手順

- [www.l-acoustics.com](http://www.l-acoustics.com) を開く
- Products > Software > Soundvision** を選ぶ
- Get Soundvision** をクリック
- フォームを記入し **Download Soundvision** をクリック
- Windows 用：ダウンロードした exe ファイルをダブルクリック  
- Mac OS 用：ダウンロードした dmg ファイルをダブルクリックし pkg ファイルをダブルクリック
- インストールウィザードの手順にしたがう

## 新たな機能

---

本リリースにおける新たな機能と改善はつぎのとおりです。

### Soundvision 2026.2

- 音圧の均質性を改善する Fill gaps between audience を **Autofilter** セットアップに追加しました。
- Soundvision から EASE にサブウーハーをエクスポートできるようにしました。
- プローブの詳細に source と group のディレイが含まれるようにしました。
- オーバーロードソースの算出を改善しました。この結果、**Find max gain** を用いた過去のプロジェクトにおいて一部のソースがオーバーロード判定される場合がありますが、再度 Find max gain をクリックすると修正されます。
- Vertical 吊りができない構成は、**Horizontal/Vertical** のオリエンテーションを無効にしました。

### 修正した問題

本リリースでの修正はつぎのとおりです。

- リンクしているソースは、**Refresh Autofilter** をクリックしてもボタンが消えずに表示されたままとなる。
- マルチ画面環境で **Elements** テーブルの **Panflex** をクリックすると、リストが誤った画面に表示される。
- K2 を K1-BUMP で吊る場合、表示されるエレメント間角度が K2-LINK で利用可能な値と一致しない。
- A15 FOCUS と A15 WIDE の混在アレイは、**SPL Target** のオーバーラップエリアにノッチが表示される。
- マッピングモード中に **Autosplay > Optimize** を実行すると Soundvision が予期せぬ停止となる。
- マッピングモード中に **3D Scene** でソースを動かそうとすると Soundvision が反応しなくなる。
- L2/L2D に対する **Fix Bottom** で示されるボトムハイトが正しくない。

### 既知の問題

本リリースにおける既知の問題と制限はつぎのとおりです。

#### Autosolver と LA Network Manager の互換性 :

- Soundvision プロジェクトを LA Network Manager にインポートした際に、4 チャンネルアンプリファイドコントローラーでサブウーハーの極性が正しく設定されません。
- オートソルバーを備えたソースに**アライメント**ディレイと極性を適用してもオートソルバーの結果は自動的にリセットされません。オートソルバーの結果は手動でリセットしてください。(BA 追記 : ディレイおよび極性を変更すると Frequency Response に表示される特性は変化しますが、それは「変更前の条件に対して作られたフィルターを使った算出結果に対してあとからディレイおよび極性変更を施したもの」です。ディレイや極性変更後にその状態に合わせてフィルターを作成したい場合は手動で Refresh を実行しなければなりません。)
- Soundvision ファイルを LA Network Manager にインポートした場合、LA7.16(i)以外のアンプリファイドコントローラーでは極性が正しく設定されません。(BA 追記 : LA7.16(i)以外のアンプリファイドコントローラーの場合、Soundvision 上で施した極性反転は LA Network Manager 上で手動設定しなければなりません。)
- Autosolver は非常に深いバルコニーのようなプロファイルに対して正常に動作しない場合があります。Autosolver の結果を手動で調整してください。

#### その他 :

- **Show mean** 機能が周波数応答に対して紛らわしい結果を表示します。
- 一部の WST ソースでは、高い周波数でのマッピング結果に微細な視覚的アーチファクト (人工的な化合物) が現れることがあります。これらのアーチファクトは Autosolver の結果には影響しないため、無視しても問題ありません。
- Kara II Down エレメントに 110°とそれ以外の角度のパンフレックス設定が含まれる K2 ラインソースを作ると、**Zoning groups** に [KARADOWNK2 xx]プリセット名の代わりに[KARA II xx]プリセット名が表示されます。これは表示だけの問題であり、マッピング時と LA Network Manager へのインポート時には正しいプリセットが適用されます。
- KS21-OUTRIG または K2-JACK+KS21-CHARIOT を用いてスタックしている KS21 は YZ シンメトリーを設定できません。
- LA2Xi および LA4X アンプリファイドコントローラーに **SYVA+LOW** ソースをアサインする場合、チャンネル 1-2 だけにしかアサインができません。チャンネル 3-4 はアサインできません。
- WIFOTILT および A-TILT を使用したスタックアレイの角度をレポートで正しく表示できません。
- **3D scene** において、透明度を設けたサーフェス越しの見え方が正しくありません。

- Apple M1 以上では、**SPL Target** ツールボックスの更新が遅くなります。
- Intel プロセッサを内蔵した Mac コンピューターでは、**3D シーン**のディレイモードでマッピングをオンにすると、グラフィックにバグが表示される場合があります。マッピングモードをオフにして再度オンにすると、この問題は解決します。

## 推奨事項

### メカニカル警告

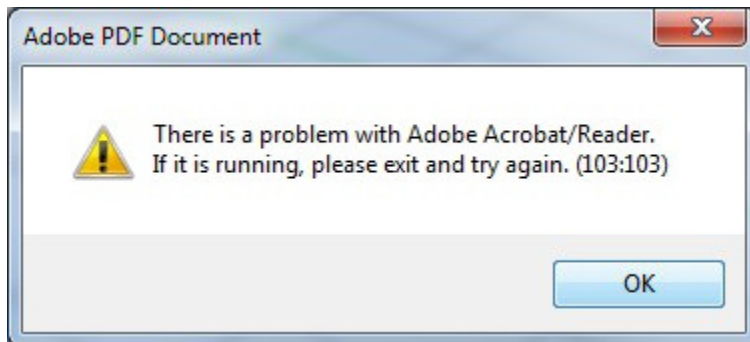
以下のスタック構成では、強く押されたり揺れたりした場合にアレイが転倒する可能性があるため、「tipping hazard : 転倒の危険」の安全警告が発せられます：

- 1 コの A10 Wide/Focus エンクロージャーをスタックしたアレイ
- HF right で 2 段スタックした ARCS Wide/Focus のアレイ
- サイトアングル 0°で Syva Base にスタックした Syva と Syva Low on Syva
- ホリゾンタルにスタックした SB10i

アレイの近くへ立ち入れないような措置が取られている場合は警告を無視しても問題ありません。そうでない場合は、アレイを地面に固定することをお勧めします。

## Adobe® Reader® トラブルシューティング

Soundvision でレポートを生成する際に Adobe Reader の問題を示すつぎのメッセージが表示されるケースがあります。(エラー 103:103)



| 考えられる原因                                      | トラブルシューティング手順  |
|--|--|
| Adobe Reader のデフォルト設定が、更新後に初期化されなかった。        | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Adobe Reader を起動する。(例：なんらかの PDF を開く。)</li> <li>2. Soundvision からレポート作成を試みる。</li> </ol>   |
| Adobe Reader のバージョンが古い。                      | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Adobe Reader を最新版に更新する。(get.adobe.com/reader から)</li> <li>2. Adobe Reader を起動する。(例：なんらかの PDF を開く。)</li> <li>3. Soundvision からレポート作成を試みる。</li> </ol>  |
| Adobe Reader のセキュリティ設定が Soundvision に干渉している。 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Adobe Reader を起動する。(例：なんらかの PDF を開く。)</li> <li>2. <b>編集メニューから環境設定</b>を選ぶ。</li> <li>3. <b>分類リストからセキュリティ (拡張)</b>を選ぶ。</li> <li>4. <b>起動時に保護モードを有効にする</b>のチェックを外し、承認する。</li> <li>5. <b>OK</b>をクリックし、<b>環境設定</b>ウィンドウを閉じる。</li> <li>6. Adobe Reader を閉じる。</li> <li>7. Adobe Reader を起動する。(例：なんらかの PDF を開く。)</li> <li>8. Soundvision からレポート作成を試みる。</li> </ol> |